

ピカソの陶芸―地中海にはぐくまれて

とき・4/5(土)～5/18(日)
ところ・企画展示室(2階)
観覧料・一般1000円(800円)、大高生800円(640円)
※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付添い1名を含む)は、いずれも無料です。
内容・終戦後、ピカソ(1881―1973)は南仏の陶芸の町ヴァロリスを訪れ、陶芸の魅力にとりつかれます。柔軟な発想から生まれるピカソの陶芸はのびやかな感性にあふれ、創作の喜びを生き生きと伝えてくれます。ピカソの監修によるエディションの陶芸作品(原作陶器をもとに複数作られた作品)を中心に、同時代の版画なども紹介しながら、伝説の巨匠の晩年を辿ります。

《関連の催し物》

○学芸員によるギャラリー・トーク

とき・4/12(土)、4/19(土)
各日とも15:00から30分程度
ところ・企画展示室(2階)
費用・企画展観覧料が必要です。

○上映会「ミステリアス・ピカソ 天才の秘密」

とき・4/29(火・祝日)11:00～、15:00～の2回上映

ところ・講堂(2階)／費用・無料
定員・100名(当日先着順。開場は30分前)

内容・ピカソの絵画の制作過程を記録したドキュメンタリー映画。20点に及ぶ絵画が描かれる様子を捉えています。スクリーンには撮影当時のピカソの姿も登場します。／監督・脚本・編集:アンリ＝ジョルジュ・クルーゾー(1956年、フランス、上映時間80分)／DVDによる上映

○ミュージアム・コンサート

とき・5/18(日)15:00から60分程度
ところ・センターホール(地階)／費用・無料
定員・60名(当日先着順。開場は30分前)

出演・関根彰良(トケ[ギター])、大橋範子(カンテ[歌])、井田真紀(バイレ[踊り])／内容・フラメンコなども含め、ピカソの故郷スペインに因んだ曲を演奏します。



パブロ・ピカソ《笛を吹く人》1947年
株式会社ヨックモック蔵
©2014-Succession Pablo Picasso-SPDA(JAPAN)

MOMASコレクションI

とき・4月2日(水)～6月8日(日)
ところ・常設展示室(1階)
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付添い1名を含む)は、いずれも無料です。

○光と夢にまどろむ

春の陽光。暮れゆく一日の残照。そして心地よい眠りの時間。光と夢に忘我するひとときを描いた絵画を紹介いたします。

○木との対話、新たに

中原佑介の企画による展覧会「art today '79 木との対話」(西武美術館)の出品作家を中心に、木を素材に用いた現代美術の多彩な表現を紹介いたします。

○四季の彩り―日本画の名作を中心に

大観、観山から玉堂、深水、青樹まで、日本の四季を謳いあげた作品を紹介いたします。

○幾何の叙情―泉 茂

新収蔵の1980年代の油彩画を中心に、デモクラート美術家協会に参加した1950年代の作品を交えて紹介します。

《関連の催し物》

○サンデー・トーク

学芸員が展示作品から1点を選び、その作品について解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

とき・4/13(日)15:00から30分程度
作品・小清水漸《作業台―硯―》1980年／担当学芸員・大浦周

とき・5/11(日)15:00から30分程度
作品・泉茂《折る円》1981年頃／担当学芸員・梅津元



泉茂《折る円》1981年頃
埼玉県立近代美術館蔵

美術館サポーターによる作品ガイド

とき・MOMASコレクション開催期間中の毎日14:00から30分程度
ところ・常設展示室(1階)／内容・美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。／費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

ファミリー鑑賞会

とき・5/15(木) 11:00から1時間程度

ところ・常設展示室(1階)
内容・ベビーカーの赤ちゃん、よちよち歩きのお子さまと一緒に、展覧会をゆっくり観覧いただける鑑賞会を開催します。美術館のスタッフが展示作品について解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。



アートフル∞プログラム MOMASの扉

とき・毎土曜日13:30～

ところ・創作室(3階)
対象・幼児～一般(プログラムにより対象年齢が異なります。)
費用・無料(ただし、「企画展物語 親子クルーズ」「工房」は材料費500円)
申込み方法・FAXまたは当館にて直接お申込みください。詳しくは当館ホームページをご覧ください。
※5/1(木)から6-7月のプログラムの申込みを受付けます。



6月

7日 MOMASコレクション親子クルーズ(小・中学生+保護者)
14日 MOMASコレクションみる+つくる(小・中学生)
21日 み〜つけ!(幼児4歳～+保護者)
28日 アート★ピンゴ【わかくさ】(※事前申込み不要)

7月

5日 工房(小学生～一般)
12日 MOMASコレクションみる+つくる(小・中学生)
19日 企画展物語みる+つくる(小・中学生)
26日 アート★ピンゴ【きん】(事前申込み不要)

一般展示室(地階)

※展示により観覧時間(特に最終日の終了時間)が異なります。

◆4/2(水)～4/6(日)

第42回主体美術武蔵野作家展(水彩、油彩、ドローイング)… 一般展示室1
第8回ラルゲット展(日本画、水彩)…………… 一般展示室2・3
第5回純銀粘土作品展(工芸)…………… 一般展示室4

◆4/8(火)～4/13(日)

U展(油彩)…………… 一般展示室1
浦和写真クラブ作品展「自然と風土」(写真)…………… 一般展示室2
第2回私の自然展(写真)…………… 一般展示室3
第19回渓水会展(日本画、水彩、油彩ほか)…………… 一般展示室4

◆4/15(火)～4/20(日)

第30回さいたま閣秀100選展(書)…………… 一般展示室1
第5回埼玉植物画の会作品展(水彩)…………… 一般展示室2
自然写真の会「彩」写真展(写真)…………… 一般展示室3
彩美展(水彩、油彩、工芸)…………… 一般展示室4

◆4/22(火)～4/27(日)

第19回彩の国さいたまきりえ展(きりえ)…………… 一般展示室2
第10回埼玉県ネーチャーフォト支部写真展(写真)…………… 一般展示室3
伊藤寿陶芸展(工芸)…………… 一般展示室4

◆4/24(木)～4/27(日)

第38回埼玉女流工芸展(工芸)…………… 一般展示室1

◆4/29(火)～5/4(日)

第18回埼玉二科展(油彩、彫刻、デザイン)…………… 一般展示室1～3

◆5/27(火)～6/18(水)

第64回埼玉県美術展覧会(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)…………… 一般展示室1～4ほか

大規模改修工事(第1期)の完成報告

建築家の故・黒川紀章氏が設計した埼玉県立近代美術館は、建築物そのものが美術作品のひとつとして大きな存在感を示しています。しかし昭和57年の開館からすでに31年が経過し、建物や設備の老朽化や生活様式の変化にともなって大規模改修工事が必要になりました。

第1期工事の目玉は、お客様トイレの改修と当館のコレクションを展示する常設展示室の改修です。

お客様トイレについては、これまでも再三にわたって大勢の方から強いご要望(ご不満)が寄せられていましたので、改修の最優先課題でした。タイルの色を白色に変えたので、黒川氏のコンセプトを遵守しつつ、より明るく清潔感のあるトイレへと生まれ変わったと思います。また、便器を和式から洋式に変え、赤ちゃんを連れの方にも利用しやすいようにベビーチェアやベビーシートを設置しました。



常設展示室については、床、壁、天井まで全ての内装を一新し、現代美術の展示にも合うようにしました。直接みなさまの目に触れるものではありませんが、展示室に欠かすことのできない重要な機能である温湿度管理の精度を向上させるため、展示室の高気密高断熱化や空調性能の増強も図りました。入口に設けた自動ドアには、安定した温湿度管理を助ける役目が期待できます。そのほか、館内のあらゆる箇所でお老朽化していた設備機器や配管を更新しました。

今回の工事で苦労した点は、「常設展示室の内装」と「トイレのレイアウト」です。

常設展示室の壁やカーペットの色、コンセントや温湿度センサーの取り付け位置、照明の位置、空調の吸排気口の位置…などの決定は、建築技師の私にとって困難を極めました。今後の展示を見通し、学芸員のコンセプトや発想の妨げにならないような展示空間を確保する必要があったため、機能と美観の狭間で、何度も何度も学芸員と打ち合わせを重ねました。これまでも増して魅力的なコレクション展が開催されることを期待したいです。



トイレのレイアウトでは、これまでの便座数を確保しようとする個室ブースが窮屈になってしまうことが工事中に判明しました。そこで、お客様が快適に過ごすことのできる空間を最優先に考え、思い切って便座数を減らし各ブースを広げることにしました。完成イメージを想像しながら、工事中のトイレ内で歩く、扉を開ける、便座に座る、手を洗うなどの素振りをしてレイアウトの最終決定をしました。

おかげさまで、第1期工事は無事に竣工に至りましたが、次の9月から平成27年3月末頃まで再度全面休館して大規模改修工事(第2期)を行う予定です。第2期工事では、企画展示室、一般展示室、外壁、エレベーターの改修などを計画しています。みなさまには再びご迷惑をおかけすることになりますが、よりよい美術館に生まれ変わるため、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(T.S.)

ミュージアムショップのオリジナルマーク

ショップにオリジナル・マークがあるのをご存知ですか?

「サイ」の「玉乗り」で、こっそりと「埼玉」をPRしているユーモラスなマークは、アート・ディレクターの葛西薫さんにデザインしていただきました。商品を入れるバッグやオリジナル・グッズ、スタッフ着用のエプロンにも登場しています。ショップにお立ち寄りの際には是非ご注目ください!(M.Y.)



利用案内

開館時間・10:00～17:30 (展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日(5月5日は開館)、5/20(火)～5/23(金)
入館料・無料、観覧料・上記をご覧ください。
交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)
* 当館に専用の駐車場はありません。提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」で

は駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。市営駐車場(有料)などもご利用ください。団体バスは事前にご相談ください。また、お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので予めご了承ください。
〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1 tel:048・824・0111 fax:048・824・0119



©埼玉県2005